

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	食生活改善推進員活動支援事業				
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	食生活を中心に市民の健康づくりを推進するボランティアとして食生活改善推進員活動を支援する。		区分	No.	区分名		
			款	4	衛生費		
			項	1	保健衛生費		
			目	1	保健衛生総務費		
事業	1	本庁保健衛生総務費					
根拠条例等	健康増進事業						
総合計画	基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援						
R2年度事業の概要	食生活を中心に市民の健康づくりを推進するボランティアとして食生活改善推進協議会を結成。その活動方針について助言するとともに活動補助金を交付する。		財源の内訳 (単位：千円)				
			分担金				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	元年度食生活推進員102人 ・市内各地域での食育推進活動 ・ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画推進活動(食育推進) ・市イベントでの協力 ・日本食生活協会の食育事業の実施(親子料理、生涯骨太クッキング、男性の為の料理教室、高齢者の良い食事の普及活動等) ・奈良県及び中和保健所と連携し生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業の実施。		使用料				
			国費				
			県費				
			市債				
			その他				
			一般財源		350		
			R2予算額		350		
			R元 当初予算額		350		
			R元 現計予算額		350		
			増減額				
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額 (千円)	350	350					
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費 (人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費：人件費含む (千円)	1,950	1,950					
活動指標名	会員数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績(見込)	107	単位	人	102	単位	人	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (2) 食生活改善推進員活動支援事業
単位当たりコスト (円)	18,224			19,118			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	医療介護連携 ICT 負担金				
所管課		健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市民が住み慣れた地域で、安心安全の医療介護サービスを受けることを推進するための地域ケアシステム構築の一部であり、中核病院や医科・歯科診療所、訪問看護、薬局、介護事業所などにおいてネットワークを結び、情報を共有し医療・介護サービスの向上・効率化を目指す。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	1	保健衛生総務費
事業	1	本庁保健衛生総務費					
根拠条例等		健康増進事業					
総合計画		基本計画 1-4-2 地域医療と福祉の連携の推進					
R2年度事業の概要	一般社団法人宇陀地域医療・介護連携ネットワーク運営協議会を設立し、稼働していく。システムの運用費用については、参加施設が負担することになるが、当事業は市民のための事業で公益性があり、今後地域包括ケアを進めていくために必要な事業であるため、行政も維持費を負担する。 負担金 500,000円×12か月=6,000,000円				財源の内訳 (単位：千円)		
	市民が住み慣れた地域で、安心して医療介護サービスを受けることを推進するための一部であり、医療介護サービスの向上・効率化を図る。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	6,000	
					R2予算額	6,000	
					R元 当初予算額	4,800	
				R元 現計予算額	4,800		
				増減額	1,200		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		2,400	4,800				
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費 (人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費：人件費含む (千円)		4,800	7,200				
活動指標名		登録者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		2,466	単位	人	3,000	単位	人
単位当たりコスト (円)		1,946		2,400			
						備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (8) 医療介護連携 ICT 負担金

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定期予防接種事業																																																			
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算																																																			
事業の目的	予防接種の実施によって感染のおそれのある疾病の発生及び蔓延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。			区分 No.	区分名																																																	
				款	4 衛生費																																																	
				項	1 保健衛生費																																																	
				目	2 予防費																																																	
事業	1 本庁予防費																																																					
根拠条例等	予防接種法																																																					
総合計画	基本計画 1-1-2 保健事業の充実																																																					
R2年度事業の概要	定期予防接種を医療機関で接種する。なお、生後6週から生後32週までの乳児を対象にロタウィルスワクチンの定期接種化を行う。 [令和2年度予算額] 需用費 224千円 役務費 175千円 委託料 39,556千円 負担金 16千円			財源の内訳 (単位：千円)																																																		
	令和2年度接種者数 (単位：人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>接種者数</th> <th>種別</th> <th>接種者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td>108</td> <td>MR</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>ヒブワクチン</td> <td>461</td> <td>水痘</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>小児肺炎球菌</td> <td>460</td> <td>日本脳炎(幼児)</td> <td>429</td> </tr> <tr> <td>ポリオ(不活化)</td> <td>1</td> <td>日本脳炎(学童)</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td>四種混合(DPT-IPV)</td> <td>485</td> <td>二種混合(DT)</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B型肝炎</td> <td>306</td> </tr> </tbody> </table>			種別	接種者数	種別	接種者数	BCG	108	MR	284	ヒブワクチン	461	水痘	228	小児肺炎球菌	460	日本脳炎(幼児)	429	ポリオ(不活化)	1	日本脳炎(学童)	375	四種混合(DPT-IPV)	485	二種混合(DT)	161			B型肝炎	306	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>39,971</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>39,971</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td>37,256</td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td>37,256</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>2,715</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	39,971	R2予算額	39,971	R元当初予算額	37,256	R元現計予算額	37,256	増減額
種別	接種者数	種別	接種者数																																																			
BCG	108	MR	284																																																			
ヒブワクチン	461	水痘	228																																																			
小児肺炎球菌	460	日本脳炎(幼児)	429																																																			
ポリオ(不活化)	1	日本脳炎(学童)	375																																																			
四種混合(DPT-IPV)	485	二種混合(DT)	161																																																			
		B型肝炎	306																																																			
分担金																																																						
使用料																																																						
国費																																																						
県費																																																						
市債																																																						
その他																																																						
一般財源	39,971																																																					
R2予算額	39,971																																																					
R元当初予算額	37,256																																																					
R元現計予算額	37,256																																																					
増減額	2,715																																																					
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	事業のコスト																																																					
	決算額又は決算見込額 (千円)	平成30年度(実績)		令和元年度(見込)																																																		
	従事職員数【人工】	1.50		1.50																																																		
	人件費 (人工×8,000千円)	12,000		12,000																																																		
	総事業費：人件費含む (千円)	41,443		49,256																																																		
	活動指標名	接種者数																																																				
活動指標の算式	—																																																					
活動指標の実績(見込)	3,298	単位	人	3,631	単位	人																																																
単位当たりコスト (円)	12,566		13,565																																																			
備考	特定財源の状況																																																					
	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (4) 乳幼児・児童生徒・高齢者等予防接種事業																																																					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者予防接種事業																								
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算																								
事業の目的	65歳以上の高齢者及び60～65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザの罹患あるいは重症化を予防することを目的に予防接種を実施する。 また、肺炎を予防することを目的に高齢者肺炎球菌ワクチンを接種する。			区分 No.	区分名																						
				款	4 衛生費																						
				項	1 保健衛生費																						
				目	2 予防費																						
事業	1 本庁予防費																										
根拠条例等	予防接種法 宇陀市インフルエンザ予防接種実施要項																										
総合計画	基本計画 1-1-2 保健事業の充実																										
R2年度事業の概要	医療機関において各自予約の上、接種を受ける。 ①インフルエンザ対象者：接種当日満65歳以上の方 60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方→接種回数：1回 自己負担金1,500円以外の費用を補助する。 ②高齢者肺炎球菌予防接種対象者：接種当日65歳以上の方 60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方→接種補助回数：1回 自己負担金2,000円以外の費用を補助する。			財源の内訳 (単位：千円)																							
				分担金																							
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	高齢者インフルエンザ接種者数(人) <table border="1"> <tr><td>H25年度</td><td>6,071</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>6,366</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>6,263</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>6,465</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>6,246</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>6,191</td></tr> </table> 高齢者肺炎球菌予防接種者数 <table border="1"> <tr><td>H26年度</td><td>1,490</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>1,234</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>1,389</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>1,455</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>1,339</td></tr> </table>			H25年度	6,071	H26年度	6,366	H27年度	6,263	H28年度	6,465	H29年度	6,246	H30年度	6,191	H26年度	1,490	H27年度	1,234	H28年度	1,389	H29年度	1,455	H30年度	1,339	使用料	
				H25年度	6,071																						
				H26年度	6,366																						
				H27年度	6,263																						
				H28年度	6,465																						
				H29年度	6,246																						
				H30年度	6,191																						
				H26年度	1,490																						
				H27年度	1,234																						
				H28年度	1,389																						
H29年度	1,455																										
H30年度	1,339																										
国費																											
県費																											
市債																											
その他	980																										
一般財源	31,551																										
R2予算額	32,531																										
R元 当初予算額	32,494																										
R元 現計予算額	32,494																										
増減額	37																										
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況																								
決算額又は決算見込額 (千円)	35,383	32,494	雑入(予防接種自己負担金) 980千円																								
従事職員数【人工】	0.40	0.40	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (4) 乳幼児・児童生徒・高齢者等予防接種事業																								
人件費 (人工×8,000千円)	3,200	3,200																									
総事業費：人件費含む (千円)	38,583	35,694																									
活動指標名	接種者数																										
活動指標の算式	—																										
活動指標の実績(見込)	7,530	単位 人	6,870	単位 人	備考																						
単位当たりコスト (円)	5,124		5,196																								

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	緊急風しん抗体検査事業		
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成30年の風しんの流行の拡大を受けて、抗体保有率が80%と低い39歳～56歳の男性を対象に、風しんの抗体検査とワクチン接種を組み合わせ対応する。この世代の全年齢層の抗体保有率を85%以上とすることを旨し、令和元年度より3年間重点的・集中的に対策を行う。			区分 No.	区分名
				款	4 衛生費
				項	1 保健衛生費
				目	2 予防費
事業	1 本庁予防費				
根拠条例等	予防接種法				
総合計画	基本計画 1-3-3 母子保健事業の充実				
R2年度事業の概要	風しんの定期接種が一度もなかった39歳～56歳の男性を予防接種法に基づく定期接種の対象とし、ワクチンの効率的な活用のために、まずは抗体検査を全国無料で実施する。そのうち、十分な抗体がない人に対し予防接種を実施する。 39歳～56歳の男性約2,300人(令和元年度未受診者) 内訳 需用費 413千円 役務費 322千円 委託料・風しん抗体検査 4,480千円 ・風しん・麻疹予防接種1,642千円			財源の内訳 (単位：千円)	
				分担金	
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	抗体保有率が低い39歳～56歳の男性を対象に、風しんの抗体検査とワクチン接種を組み合わせ実施することで、風しんの発生及びまん延を予防することができる。			使用料	
				国費	2,607
				県費	
				市債	
				その他	
				一般財源	4,250
				R2予算額	6,857
				R元 当初予算額	
R元 現計予算額					
増減額	6,857				
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況
決算額又は決算見込額 (千円)			12,363		
従事職員数【人工】			0.30		
人件費 (人工×8,000千円)			2,400		
総事業費：人件費含む (千円)			14,763		
活動指標名	抗体検査受診者				
活動指標の算式	—				
活動指標の実績(見込)		単位	800	単位	備考
単位当たりコスト (円)			18,454	人	
					<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健康なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9) 母子保健事業の充実

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	成人・女性等がん検診事業																																																																
所管課	健康増進課		(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算																																																														
事業の目的	宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物（がん）・2位心疾患、3位肺炎となっており、がんの早期発見のために検診は最も重要である。市民にがん検診の機会を提供するとともに、個別の受診勧奨・再勧奨、がんに関する正しい知識の普及啓発等を行うことにより、がん検診の受診率向上を図り、がんによる死亡率を減少させることを目的とする。				区分 No.	区分名																																																													
					款	4	衛生費																																																												
					項	1	保健衛生費																																																												
					目	4	健康づくり費																																																												
事業	1	本庁健康づくり費																																																																	
根拠条例等	宇陀市健康診査実施に関する要綱																																																																		
総合計画	基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援																																																																		
R2年度事業の概要	大腸・胃・肺・前立腺がん検診は各保健センターで実施する集団検診（セット健診）と、市内医療機関で実施する個別検診の体制で実施する。 子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する集団検診（女性のがん検診）と、医療機関個別検診の体制で実施する。 「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用した、がん検診の個別の受診勧奨・再勧奨等の事業を行う。				財源の内訳（単位：千円）																																																														
	がん検診受診率は奈良県平均より高い。毎年十数名のがん確定診断者があり、早期治療に繋げている。 【各検診受診者数】（単位 人） <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>2,571</td> <td>2,582</td> <td>2,584</td> <td>2,598</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>1,591</td> <td>1,609</td> <td>1,665</td> <td>1,682</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>1,848</td> <td>1,954</td> <td>2,067</td> <td>2,088</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>938</td> <td>940</td> <td>865</td> <td>951</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>837</td> <td>1,101</td> <td>1,308</td> <td>1,051</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>895</td> <td>1,101</td> <td>1,214</td> <td>1,074</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,680</td> <td>9,287</td> <td>9,703</td> <td>9,444</td> </tr> </tbody> </table>				内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	大腸がん検診	2,571	2,582	2,584	2,598	胃がん検診	1,591	1,609	1,665	1,682	肺がん検診	1,848	1,954	2,067	2,088	前立腺がん検診	938	940	865	951	子宮がん検診	837	1,101	1,308	1,051	乳がん検診	895	1,101	1,214	1,074	合計	8,680	9,287	9,703	9,444	<table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>3,595</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>31,822</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>35,417</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td>34,201</td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td>34,201</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>1,216</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他	3,595	一般財源	31,822	R2予算額	35,417	R元当初予算額	34,201	R元現計予算額	34,201	増減額
内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																																																															
大腸がん検診	2,571	2,582	2,584	2,598																																																															
胃がん検診	1,591	1,609	1,665	1,682																																																															
肺がん検診	1,848	1,954	2,067	2,088																																																															
前立腺がん検診	938	940	865	951																																																															
子宮がん検診	837	1,101	1,308	1,051																																																															
乳がん検診	895	1,101	1,214	1,074																																																															
合計	8,680	9,287	9,703	9,444																																																															
分担金																																																																			
使用料																																																																			
国費																																																																			
県費																																																																			
市債																																																																			
その他	3,595																																																																		
一般財源	31,822																																																																		
R2予算額	35,417																																																																		
R元当初予算額	34,201																																																																		
R元現計予算額	34,201																																																																		
増減額	1,216																																																																		
事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し）																																																																			
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			特定財源の状況																																																														
決算額又は決算見込額（千円）	29,715	34,201			雑入（がん検診自己負担金） 3,595千円																																																														
従事職員数【人工】	1.50	1.50																																																																	
人件費（人工×8,000千円）	12,000	12,000																																																																	
総事業費：人件費含む（千円）	41,715	46,201																																																																	
活動指標名	受診者数																																																																		
活動指標の算式	—																																																																		
活動指標の実績（見込）	9,444	単位	人	9,530	単位	人																																																													
単位当たりコスト（円）	4,417		4,848			備考																																																													
	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (3) がん予防対策等の推進																																																																		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業		
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	死亡原因の第1位である‘がん’を早期発見し早期治療につなげるため、個別の受診勧奨・再勧奨、無料クーポン券の配布、がんに関する正しい知識の普及啓発、精密検査未受診者に対する再勧奨の徹底等を行うことにより、がんによる死亡者数を減少させることを目的とする。		区分 No.	区分名	
			款	4	衛生費
			項	1	保健衛生費
			目	4	健康づくり費
事業	1	本庁健康づくり費			
根拠条例等	がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進				特別予算
総合計画	基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援				
R2年度事業の概要	「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」として、69歳までのがん検診全対象者へ個別勧奨及び一部対象者への再勧奨を実施。令和元年度より、子宮がん検診は年度末年齢21歳、乳がん検診は年度末年齢41歳のみ無料クーポン券等を配布（国庫補助金の事業対象者）。また精密検査未受診者に対する受診勧奨を行う。		財源の内訳 (単位：千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	乳がん・子宮がんの節目年齢のクーポン事業、がん検診受診勧奨事業を実施。 無料クーポン受診者 (30年度) 子宮がん検診 91人 (21.3%) 乳がん検診 161人 (26.1%)		分担金	
		使用料			
		国費	552		
		県費			
		市債			
		その他			
		一般財源	761		
		R2予算額	1,313		
		R元 当初予算額	1,357		
		R元 現計予算額	1,357		
		増減額	▲ 44		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		
決算額又は決算見込額 (千円)		2,408	1,357		
従事職員数【人工】		0.50	0.50		
人件費 (人工×8,000千円)		4,000	4,000		
総事業費：人件費含む (千円)		6,408	5,357		
活動指標名		無料クーポン受診者数			
活動指標の算式		—			
活動指標の実績(見込)		252	単位	人	83
単位当たりコスト (円)		25,429	単位	人	64,542
		特定財源の状況			
		新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金 552千円			
		備考			
		<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (3) がん予防対策等の推進			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	妊婦健康診査・母子健康手帳交付事業																																																			
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算																																																			
事業の目的	妊娠経過と出生後の児の成長、予防接種歴を記録する母子健康手帳を妊娠が分った時点で交付する。交付時の保健指導は、妊娠・出産に対する不安や悩みの把握・相談とともに今後の関わりや支援のきっかけの機会となる。 妊婦の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健康診査の受診を徹底するため費用を助成する。			区分 No.	区分名																																																	
				款	4 衛生費																																																	
				項	1 保健衛生費																																																	
				目	4 健康づくり費																																																	
事業	4 本庁母子健康づくり費																																																					
根拠条例等	母子保健法																																																					
総合計画	基本計画 1-3-3 母子保健事業の充実																																																					
R2年度事業の概要	母子健康手帳発行時に、妊婦健康診査補助券綴り(39枚分の補助券、1枚2,500円)を発行し、健診時に健診費用として医療機関へ支払う。 母子健康手帳・妊婦健康診査補助券は、健康増進課・中央保健センターで交付。 低所得者を対象に妊婦判定料全額補助事業を実施(市町村民税非課税世帯<生保含む>)。			財源の内訳 (単位：千円)																																																		
	妊婦が安心して健診を受けることができ、妊婦と胎児の健康管理の向上が図れる。 妊婦健康診査・母子手帳交付 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>母子健康手帳 交付数</th> <th>妊婦 健康診査</th> <th>妊娠 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成25年度</td><td>178件</td><td>169件</td><td>5件</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>162件</td><td>158件</td><td>4件</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>153件</td><td>159件</td><td>1件</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>155件</td><td>186件</td><td>2件</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>109件</td><td>182件</td><td>3件</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>119件</td><td>178件</td><td>3件</td></tr> </tbody> </table>			年度	母子健康手帳 交付数	妊婦 健康診査	妊娠 判定	平成25年度	178件	169件	5件	平成26年度	162件	158件	4件	平成27年度	153件	159件	1件	平成28年度	155件	186件	2件	平成29年度	109件	182件	3件	平成30年度	119件	178件	3件	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国 費</td><td></td></tr> <tr><td>県 費</td><td>17</td></tr> <tr><td>市 債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>11,232</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>11,249</td></tr> <tr><td>R元 当初予算額</td><td>14,226</td></tr> <tr><td>R元 現計予算額</td><td>14,226</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 2,977</td></tr> </table>		分担金		使用料		国 費		県 費	17	市 債		その他		一般財源	11,232	R2予算額	11,249	R元 当初予算額	14,226	R元 現計予算額	14,226	増減額
年度	母子健康手帳 交付数	妊婦 健康診査	妊娠 判定																																																			
平成25年度	178件	169件	5件																																																			
平成26年度	162件	158件	4件																																																			
平成27年度	153件	159件	1件																																																			
平成28年度	155件	186件	2件																																																			
平成29年度	109件	182件	3件																																																			
平成30年度	119件	178件	3件																																																			
分担金																																																						
使用料																																																						
国 費																																																						
県 費	17																																																					
市 債																																																						
その他																																																						
一般財源	11,232																																																					
R2予算額	11,249																																																					
R元 当初予算額	14,226																																																					
R元 現計予算額	14,226																																																					
増減額	▲ 2,977																																																					
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)																																																						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																																		
決算額又は決算見込額 (千円)	10,458	14,226		妊婦判定受診料補助事業補助金 17千円																																																		
従事職員数【人工】	0.30	0.30																																																				
人件費 (人工×8,000千円)	2,400	2,400																																																				
総事業費：人件費含む (千円)	12,858	16,626																																																				
活動指標名	妊婦健康診査補助券交付数																																																					
活動指標の算式	—																																																					
活動指標の実績(見込)	178	単位	人	140	単位	人																																																
単位当たりコスト (円)	72,236		118,757																																																			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9) 母子保健事業の充実																																																					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児健康診査																				
所管課	健康増進課		(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算																		
事業の目的	乳幼児の発育状況や育児の状況を把握することにより、必要な助言・指導を行い、児の健康の保持・増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に下記の健康診査を実施する。				区分 No.	区分名																	
					款	4	衛生費																
					項	1	保健衛生費																
					目	4	健康づくり費																
事業	4	本庁母子健康づくり費																					
根拠条例等	母子保健法																						
総合計画	基本計画 1-3-3 母子保健事業の充実																						
R2年度事業の概要	発達の節目の時期に合わせて、乳児健康診査（4～5カ月児、10～11カ月児）、1歳6カ月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査を実施する。 H30年度実施状況				財源の内訳（単位：千円）																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象</th> <th>健診回数</th> <th>受診数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">乳児健康診査</td> <td>4～5カ月児</td> <td>12</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>10～11カ月児</td> <td>12</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康診査</td> <td>1歳6カ月児</td> <td>7</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>2歳児歯科</td> <td>7</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>8</td> <td>156</td> </tr> </tbody> </table>		対象	健診回数	受診数(人)	乳児健康診査	4～5カ月児	12	104	10～11カ月児	12	115	健康診査	1歳6カ月児	7	161	2歳児歯科	7	153	3歳児	8	156	分担金
	対象	健診回数	受診数(人)																				
乳児健康診査	4～5カ月児	12	104																				
	10～11カ月児	12	115																				
健康診査	1歳6カ月児	7	161																				
	2歳児歯科	7	153																				
	3歳児	8	156																				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	児の発育状況や育児の状況を把握し、児の健康の保持・増進を図るとともに、虐待問題の早期発見のためにも重要な機会となる。そのため、健診未受診者の全数把握に努め、健診受診率100%を目指す。 健診の結果、経過観察等必要な児については、個別面接による継続支援や、心理発達相談員による発達相談などにつなげ発育、発達支援をする。また必要な児には関係機関（子育て支援センター、介護福祉課、教育委員会、幼稚園、保育所など）と連携した育児支援を行っている。				使用料																		
					国費																		
					県費																		
					市債																		
					その他																		
					一般財源	1,220																	
					R2予算額	1,220																	
					R元 当初予算額	2,079																	
R元 現計予算額	2,079																						
増減額	▲ 859																						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																			
決算額又は決算見込額(千円)	2,162	2,079																					
従事職員数【人工】	2.20	2.20																					
人件費(人工×8,000千円)	17,600	17,600																					
総事業費：人件費含む(千円)	19,762	19,679																					
活動指標名	受診者数																						
活動指標の算式	—																						
活動指標の実績(見込)	689	単位	人	700	単位	人																	
単位当たりコスト(円)	28,682		28,113		備考																		
<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9) 母子保健事業の充実																							

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	育児教室・相談事業（育児支援・発達支援）				
所管課	健康増進課		(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	【訪問支援】新生児、産婦、乳幼児の家庭訪問を通して個別の状況把握をし、きめ細かい指導を実施する。 【育児教室】乳児の保護者を対象に、講義・実習・交流により、知識の普及や保護者同士の交流のきっかけづくりをする。 【発達相談】心理発達相談員による発達相談及び児への関わり方の相談、助言の場とする。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費					
根拠条例等	母子保健法						
総合計画	基本計画 1-3-3 母子保健事業の充実						
R2年度事業の概要	【訪問支援】乳児(新生児・未熟児)・産婦訪問指導を実施(こども未来課の「こんにちは赤ちゃん事業」と連携)。その他、健診を受診しない児や経過観察が必要な児も訪問等により指導する。 【育児教室】教室形式での育児支援として、ひよこクラス(育児教室)を4クール開催(1クール3回)。 【発達相談】年22回、各保健センターで発達相談を実施。				財源の内訳 (単位:千円)		
	30年度実績 【訪問支援】訪問延件数 295件 【育児教室(ひよこクラス)】3回/1教室×4教室 実施 参加実人数 47組 参加延人数 保護者 110人 【発達相談】18回実施 実人数25人 延30人実施				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	36	
					一般財源	632	
					R2予算額	668	
					R元当初予算額	777	
				R元現計予算額	777		
				増減額	▲ 109		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)		448	777				
従事職員数【人工】		0.50	0.50				
人件費(人工×8,000千円)		4,000	4,000				
総事業費:人件費含む(千円)		4,448	4,777				
活動指標名		育児教室参加者					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		110	単位	人	110 単位 人		
単位当たりコスト(円)		40,436	43,427				
		特定財源の状況					
		雑入(育児教室託児自己負担金) 36千円					
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9) 母子保健事業の充実					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	産婦人科一時救急体制整備負担金		
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成19年8月に起きた妊婦搬送事案を受け、産婦人科の一次救急体制の整備が最も重要な課題であるとされ、体制確保のために必要な経費を県と市町村で負担する。		区分 No.	区分名	
			款	4	衛生費
			項	1	保健衛生費
			目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費			
根拠条例等	周産期医療対策事業実施要綱（奈良県）				
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実				
R2年度事業の概要	奈良県を実施主体とし、妊婦の救急時の受け入れを確保する。病院群輪番制及び在宅当番医制による毎休日・夜間の救急体制を確保する。		財源の内訳 (単位：千円)		
	平成20年2月から病院群輪番体制及び在宅当番医制により毎休日・夜間に救急体制を確保することができる。 平成28年度 4人 平成29年度 5人 平成30年度 4人		分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)			使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源	617	
			R2予算額	617	
			R元当初予算額	578	
			R元現計予算額	578	
			増減額	39	
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		
決算額又は決算見込額 (千円)		561	578		
従事職員数【人工】		0.10	0.10		
人件費 (人工×8,000千円)		800	800		
総事業費：人件費含む (千円)		1,361	1,378		
活動指標名		受診患者数			
活動指標の算式		-			
活動指標の実績(見込)		4	単位	人	5
単位当たりコスト (円)		340,250	単位	人	275,600
		特定財源の状況 備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (2)産婦人科一次救急体制整備負担金			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小児深夜診療負担金（橿原市休日夜間応急診療所）				
所管課		健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成9年度より県の事業として小児2次救急輪番体制を開始したが、1次救急を十分に整備しないままであったことから、1次救急患者が2次救急輪番病院に殺到し、診療に支障をきたした。これを解消すべく、1次救急を行う休日夜間応急診療所の空白時間をなくす体制を維持する。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費					
根拠条例等	橿原市休日夜間応急診療所における小児深夜診療経費に係る負担金に関する協定書						
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実						
R2年度事業の概要	奈良県を実施主体とし、小児の救急時の受け入れを確保する。奈良県の中南和30市町村により、橿原市休日夜間応急診療所の運営費を負担する。				財源の内訳（単位：千円）		
	事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	橿原休日夜間応急診療所において、小児の休日・夜間の受診体制を確保することができる。 [宇陀市小児受診者数] H26年度 34人 H27年度 25人 H28年度 29人 H29年度 36人 H30年度 27人				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源		1,150					
R2予算額		1,150					
R元当初予算額	1,886						
R元現計予算額	1,886						
増減額	▲ 736						
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			
決算額又は決算見込額(千円)			1,197	1,886			
従事職員数【人工】			0.10	0.10			
人件費(人工×8,000千円)			800	800			
総事業費：人件費含む(千円)			1,997	2,686			
活動指標名			受診患者数				
活動指標の算式			—				
活動指標の実績(見込)			27	単位	人		
単位当たりコスト(円)			73,963	30	単位 人		
			89,533				
			特定財源の状況				
			備考				
			<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (3) 小児深夜診療負担金				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子育て世代包括支援事業			
所管課	健康増進課	(健康福祉部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の整備を図るとともに、保健師等の専門職が妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて支援プランを作成することにより妊産婦等の切れ目ない支援を実施する。			区分 No.	区分名	
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費				
根拠条例等	母子保健法、子ども・子育て支援法					
総合計画	基本計画 1-3-3 母子保健事業の充実					
R2年度事業の概要	悩みを抱える妊産婦を早期に発見し、相談支援しながら、児童虐待の予防・早期発見に努める。			財源の内訳 (単位：千円)		
	30年度より開始 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援することで、育児不安やストレスが軽減され、乳幼児の健やかな成長発達や虐待予防につながる。 また、ハイリスク妊婦を妊娠届出時等早期に把握し、妊娠期から関わることで、出産・退院後の早期支援と継続した関わりができる。 妊婦電話相談実施率 97.6% 産婦電話相談実施率 97.6%			分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)				使用料		
				国費	1,019	
				県費	1,019	
				市債		
				その他		
				一般財源	1,020	
				R2予算額	3,058	
				R元 当初予算額	1,516	
			R元 現計予算額	1,516		
			増減額	1,542		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)			
決算額又は決算見込額 (千円)		1,220	1,516			
従事職員数【人工】		0.20	0.20			
人件費 (人工×8,000千円)		1,600	1,600			
総事業費：人件費含む (千円)		2,820	3,116			
活動指標名		相談件数 (妊婦・産婦)				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績(見込)		250	単位	250	単位	
単位当たりコスト (円)		11,280	12,464			
			特定財源の状況			
			子ども・子育て支援交付金			
			(国) 1,019千円			
			(県) 1,019千円			
			備考			
			<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9) 母子保健事業の充実			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	産前・産後サポート事業				
所管課		健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	最も育児不安に陥りやすく虐待死亡の割合が高い0歳児を持つ産婦に対して、離乳食相談や乳房管理を含めた身体的・精神的な相談支援を専門職（管理栄養士・助産師等）が実施することで、安心して子育てができる支援体制づくりをする。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費					
根拠条例等	母子保健医療対策総合支援事業（要綱）						
総合計画	基本計画 1-3-3 母子保健事業の充実						
R2年度事業の概要	令和元年度より開始 【授乳相談】 ・母乳育児などで悩みを抱えた産婦に対し、定期的に助産師等による専門的な相談日を設ける。 【離乳食相談】 ・概ね6か月から1歳までの児をもち、離乳食に悩みを持つ産婦（養育者）に対し定期的に管理栄養士等による専門的な相談日を設ける。				財源の内訳（単位：千円）		
	0歳児を持つ産婦（養育者）に対して、専門的な相談支援を行う事で育児不安の軽減を図る。また、継続支援が必要なケースを早期に発見し、支援につなげることにより、産婦（養育者）がより安心して子育てができ、虐待予防につなげることができる。				分担金		
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）					使用料		
					国費	87	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	89	
					R2予算額	176	
					R元 当初予算額	419	
				R元 現計予算額	419		
				増減額	▲ 243		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)				
決算額又は決算見込額（千円）			419				
従事職員数【人工】			0.20				
人件費（人工×8,000千円）			1,600				
総事業費：人件費含む（千円）			2,019				
活動指標名		相談者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)			24	単位	人		
単位当たりコスト（円）			84,125				
		特定財源の状況					
		妊娠・出産包括支援事業補助金 87千円					
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9) 母子保健事業の充実					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	健康ポイント関連事業																																					
所管課		健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算																																			
事業の目的	【健康ポイント事業】健康づくりに関する事業に参加することで健康ポイントをため、健康グッズなどの記念品がもらえる。 【ウェルネスウォーク】月替わりウェルネス事業の一つとして実施。また、地域でのウォーキングを実施し交流を深め、歩く機会を増やす。 【Smart Wellness City 首長研究会への参加】				区分 No.	区分名																																		
					款	4	衛生費																																	
					項	1	保健衛生費																																	
					目	4	健康づくり費																																	
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）																																						
根拠条例等	健康増進法																																							
総合計画	基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援																																							
R2年度事業の概要	事業参加することをすすめ、ウェルネスシティ宇陀市構想を推進する。 報償費（健康記念品等）822千円 旅費 132千円 需用費（チラシ印刷等）161千円 役務費 51千円 負担金 SWC参加費 19千円				財源の内訳（単位：千円）																																			
	自分自身の健康づくり活動に対するの努力とその成果を健康ポイントとして貯め、抽選によって景品が当たるというインセンティブ効果を狙って健康づくりに対する関心を高める。																																							
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>健康ポイント</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募実人数</td> <td>478人</td> <td>504人</td> <td>544人</td> </tr> <tr> <td>応募件数</td> <td>1281件</td> <td>1621件</td> <td>1738件</td> </tr> </tbody> </table>				健康ポイント	28年度	29年度	30年度	応募実人数	478人	504人	544人	応募件数	1281件	1621件	1738件	<table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,185</td></tr> <tr><td>R2予算額</td><td>1,185</td></tr> <tr><td>R元当初予算額</td><td>1,052</td></tr> <tr><td>R元現計予算額</td><td>1,052</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>133</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	1,185	R2予算額	1,185	R元当初予算額	1,052	R元現計予算額	1,052	増減額	133
	健康ポイント	28年度	29年度	30年度																																				
	応募実人数	478人	504人	544人																																				
	応募件数	1281件	1621件	1738件																																				
分担金																																								
使用料																																								
国費																																								
県費																																								
市債																																								
その他																																								
一般財源	1,185																																							
R2予算額	1,185																																							
R元当初予算額	1,052																																							
R元現計予算額	1,052																																							
増減額	133																																							
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況																																			
決算額又は決算見込額(千円)		1,365	1,052																																					
従事職員数【人工】		0.20	0.20																																					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600																																					
総事業費：人件費含む(千円)		2,965	2,652																																					
活動指標名		ポイントカード応募数																																						
活動指標の算式		-																																						
活動指標の実績(見込)		1,738	単位	枚	1,800	単位	枚																																	
単位当たりコスト(円)		1,706		1,473		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (1) “ウェルネスシティ”推進事業																																		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネス運動事業		
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	健康づくりのための運動（有酸素・ストレッチ・筋トレ等）をバランスよく含んだ内容にプラスして、脳を活性化するシナプソロジー（二つのことを同時に行うこと）を含んだ脳と身体の運動を行うことで、健康寿命の延伸につなげる。			区分 No.	区分名
				款	4 衛生費
				項	1 保健衛生費
				目	4 健康づくり費
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）			
根拠条例等	健康増進法				
総合計画	基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援				
R2年度事業の概要	脳と身体のいきいき運動教室			財源の内訳 (単位：千円)	
	報償費（講師謝礼）	504千円	分担金		
需用費（活動量計等）	39千円	使用料			
役務費（通信費等）	44千円	国費			
使用料及び賃借料（機器・システム使用料）	78千円	県費			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	高齢者と言われる65歳以前から運動習慣をもつことや脳を活性化することが健康寿命の延伸につながる。認知症、転倒、骨折など要介護状態になる原因を予防する教室として開催する。			市債	
	平成30年度 登録者数	50人	その他	960	
	実施回数	39回	一般財源	▲ 295	
				R2予算額	665
				R元 当初予算額	971
				R元 現計予算額	971
				増減額	▲ 306
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		
決算額又は決算見込額 (千円)		794	971		
従事職員数【人工】		0.30	0.30		
人件費 (人工×8,000千円)		2,400	2,400		
総事業費：人件費含む (千円)		3,194	3,371		
活動指標名		事業参加者数			
活動指標の算式		-			
活動指標の実績(見込)		35	単位	人	40
単位当たりコスト (円)		91,257	84,275		
		特定財源の状況			
		雑入(運動教室受講料) 960千円			
		備考			
		<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (1) “ウェルネスシティ”推進事業			

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネスシニア健康学校事業		
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	「教養でつくる健康長寿」という考え方で、高齢者対策を福祉の視点ではなくまちづくり、文化の視点へ転換する。高齢者に学習の機会、運動の機会を提供し、学ぶことの喜びから生きがいがづくり、ともに学ぶことから仲間づくりにつなげる。 シニア健康学校卒業生が、学んだことを地域サロンのなかで生かすリーダー的役割を担うことを目指す。			区分 No.	区分名
				款	4 衛生費
				項	1 保健衛生費
				目	4 健康づくり費
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援				
R2年度事業の概要	高齢者層を対象に、社会福祉協議会に委託して、月2回程度、シニア健康学校を開設する。 委託料 614千円			財源の内訳 (単位：千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化 健康長寿・介護予防と認知症予防 地域サロンの活性（シニア健康学校卒業生が地域のリーダー） 運動会等と一緒にを行う事で児童と高齢者の世代間交流を図る 高齢者の教養向上 人間関係づくり（多くの人と知り合える） ボランティア・NPOの活性化 老人会の活性化 社会福祉協議会の役割の明確化 			分担金
使用料					
国費					
県費					
市債					
その他					
一般財源					614
R2予算額					614
R元当初予算額	776				
R元現計予算額	776				
増減額	▲ 162				
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	658	776			
従事職員数【人工】	0.10	0.10			
人件費 (人工×8,000千円)	800	800			
総事業費：人件費含む (千円)	1,458	1,576			
活動指標名	参加者数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績(見込)	46	単位 人	46	単位 人	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (1) “ウェルネスシティ”推進事業
単位当たりコスト (円)	31,696		34,261		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	おはようラジオ体操事業			
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	ラジオ体操は子どもから高齢者まで、ほとんどの人が知っていて、音楽があれば指導者がいなくてもいつでもどこでも実施できる。 誘い合っていることで運動の継続になり、コミュニケーションやお互いの安全の確認ができ、健康効果と地域のつながりを強める。 自治会・まちづくり協議会を中心に、ラジオ体操の効果を啓発する。			区分 No.	区分名	
				款	4 衛生費	
				項	1 保健衛生費	
				目	4 健康づくり費	
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）				
根拠条例等	健康増進法					
総合計画	基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援					
R2年度事業の概要	地域でのラジオ体操普及を目的に、ラジオ体操を継続的に実施する自治会、まちづくり協議会に補助金10,000円を交付する。のぼり、正しいラジオ体操の本（DVD）、出席カードなどを配布する。 需用費 20千円 役務費 9千円 負担金、補助金 ラジオ体操事業補助金 450千円			財源の内訳 (単位：千円)		
				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	【ラジオ体操の効果】 ・身体活動を高める。 ・朝早くから起きることで生活リズムが整えられ、活動的になる。 ・同じ場所、同じ体操をすることでソーシャルキャピタルが高まる。 ・地域の人達と顔を合わせることで見守りにつながる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	479	
				R2予算額	479	
				R元 当初予算額	508	
				R元 現計予算額	508	
				増減額	▲ 29	
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	422	508				
従事職員数【人工】	0.20	0.20				
人件費 (人工×8,000千円)	1,600	1,600				
総事業費：人件費含む (千円)	2,022	2,108				
活動指標名	実施箇所数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)	40	単位	箇所	41	単位	箇所
単位当たりコスト (円)	50,550		51,415			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (1) “ウェルネスシティ”推進事業					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	いきいき百歳体操補助金				
所管課		医療介護あんしんセンター（健康福祉部）		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	地域包括ケアシステムの構築を推進するため、要介護認定の35%を占める不活発病といわれる筋骨格系の病状の悪化を防ぐため、地域で高齢者が主体となって集い、筋力・バランス・柔軟性・持久力の向上を図るいきいき百歳体操を行うことで、閉じこもり予防と更なる健康状態の改善・見守りなどコミュニティの形成につなぐことを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
事業	102	本庁健康づくり費（いきいき百歳体操事業）					
根拠条例等		介護保険法					
総合計画		基本計画 1-1-1 健康づくり活動の支援					
R2年度事業の概要	地域の集会所等で、地域住民が主体となって5人以上の高齢者等が週1回以上集まって、体操DVDを見ながら約40分間椅子に座り筋力・バランス・柔軟性・持久力の向上を中心とした運動を行う。 その際に使用する、DVDプレーヤー・テレビ・椅子・運動用の錘等会場設営に係る費用など、住民主体で運動を始める応援として初回のみ補助金を支出する。説明会及び測定開始時には医療介護あんしんセンターから指導を行う。 1カ所30,000円×20カ所＝600,000円（1箇所1回限り）				財源の内訳（単位：千円）		
	高齢者が、自主的に地域で集い、筋力アップを中心とした運動を行うことで高齢者個々の介護予防を図り健康寿命の延伸、閉じこもりの防止、互いの見守りを行うとともに、コミュニティの形成に繋げる。また介護保険や医療保険の支出の抑制に繋いでいく。 【実施箇所】 平成28年度 18箇所 平成29年度 31箇所 平成30年度 50箇所 令和元年度 64箇所見込				分担金		
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）					使用料		
					国費		
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	600		
				R2予算額	600		
				R元 当初予算額	900		
				R元 現計予算額	900		
				増減額	▲ 300		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）		484	900				
従事職員数【人工】		1.00	1.00				
人件費（人工×8,000千円）		8,000	8,000				
総事業費：人件費含む（千円）		8,484	8,900				
活動指標名		参加者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		782	単位	人	1,000	単位	人
単位当たりコスト（円）		10,849		8,900			
						備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 1. 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”の実現」 (1) “ウェルネスシティ”推進事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不妊治療費助成事業				
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資する為の施策として、不妊に悩む夫婦の負担の軽減を図る。			区分 No.	区分名		
				款	4 衛生費		
				項	1 保健衛生費		
				目	4 健康づくり費		
事業	103	本庁健康づくり費（不妊・不育治療費助成事業）					
根拠条例等	宇陀市一般不妊治療・不育症治療費助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実						
R2年度事業の概要	一般不妊治療に要する経費について、1年間で5万円を上限として助成する。 50,000円×12組=600,000円			財源の内訳 (単位：千円)			
				分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進に繋げる。			使用料			
				国費			
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	600		
				R2予算額	600		
				R元 当初予算額	800		
				R元 現計予算額	800		
				増減額	▲ 200		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	450	800					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費 (人工×8,000千円)	800	800					
総事業費：人件費含む (千円)	1,250	1,600					
活動指標名	助成金受給者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	9	単位	人	16		単位	人
単位当たりコスト (円)	138,889	100,000		備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (6) 不妊治療費助成事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不育症治療費助成事業			
所管課	健康増進課	(健康福祉部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資する為の施策として、不育症に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。			区分 No.	区分名	
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	4	健康づくり費
事業	103	本庁健康づくり費（不妊・不育治療費助成事業）				
根拠条例等	宇陀市一般不妊治療・不育症治療費助成金交付要綱					
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実					
R2年度事業の概要	不育症治療に要する経費について、1年間で10万円を上限として助成する。 100,000円×2組=200,000円			財源の内訳（単位：千円）		
				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	不育症に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進につなげる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	100	
				R2予算額	100	
				R元 当初予算額	200	
				R元 現計予算額	200	
				増減額	▲ 100	
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額（千円）		200				
従事職員数【人工】	0.10	0.10				
人件費（人工×8,000千円）	800	800				
総事業費：人件費含む（千円）	800	1,000				
活動指標名	助成金受給者数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)		1	備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (7) 不育症治療費助成事業		
単位		人				
単位当たりコスト（円）		1,000,000				

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域医療体制推進における寄附講座負担金				
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	宇陀地区をはじめ東部中山間地域の開業医の高齢化及び減少が進み、宇陀地域の医療資源が乏しくなっている。宇陀市では、宇陀地域の一次医療を補完すること、また、地域包括ケアシステムの推進のため、在宅医療、介護の連携には内科系の医師が必要不可欠である。これらを踏まえ、宇陀市と奈良県立医科大学との間で、寄附講座の開設により医師の派遣を受け、宇陀地区の地域医療体制を推進する。		区分 No.	区分名			
			款	4	衛生費		
			項	1	保健衛生費		
			目	6	病院費		
			事業	1	病院費		
根拠条例等	地方公営企業法第17条の2						
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実						
R2年度事業の概要	(負担金) 派遣医師の件数相当分 20,000千円		財源の内訳 (単位:千円)				
	宇陀地域に今後必要となる医療提供体制の構築を支援するための研究及び、診療に従事する若手医師や研修医の教育等を目的に寄附講座を設置する。 【取組の効果】 ①東和医療圏における救急患者の円滑な受け入れ ②急変時の患者受け入れ等、高齢化が進む開業医や診療所に従事する医師に対する支援 ③在宅医療や軽症の救急患者の対応等、地域医療を経験する場を若い医師や研修医に提供 ④診療所や介護施設との連携による地域包括システム構築を支援		分担金				
使用料							
国費							
県費							
市債			20,000				
その他							
一般財源							
R2予算額			20,000				
R元 当初予算額			15,000				
R元 現計予算額			18,000				
増減額	5,000						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)		18,000		過疎対策事業債 20,000千円			
従事職員数【人工】		0.30					
人件費 (人工×8,000千円)		2,400					
総事業費:人件費含む (千円)		20,400					
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (1) 地域医療体制推進における寄附講座事業		
単位当たりコスト (円)							

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	在宅医療体制構築及び在宅医療推進に係る負担金			
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	宇陀地区では開業医の高齢化や減少が進み、医療資源が乏しくなっている。宇陀地域の一次医療を補完し、地域包括ケアシステムを推進するためには、在宅医療・介護の連携が必要である。特に在宅医療は、市立病院を拠点とした在宅医療体制の構築と地域開業医を支援する体制の構築が必要であることから、奈良県立医科大学の協力・連携のもと在宅医療体制の構築及び在宅医療の推進を図る。		区分 No.	区分名		
			款	4	衛生費	
			項	1	保健衛生費	
			目	6	病院費	
事業	1	病院費				
根拠条例等	地方公営企業法第17条の2					
総合計画	基本計画 1-4-1 医療体制の充実					
R2年度事業の概要	負担額 在宅医療研究のための費用 3,000千円		財源の内訳 (単位：千円)			
	宇陀地域に必要な在宅医療体制の構築や研究のため、奈良県立医科大学と協力・連携し、地域医療に寄与する。 【取組の効果】 ①奈良医大総合診療科の市立病院を拠点とした在宅医療実施による地域医療に対する貢献 ②奈良医大での研究による宇陀地域の在宅医療資質向上へ寄与 ③市内開業医・訪問看護ステーション等との連携による地域包括システム構築への支援		分担金			
使用料						
国費						
県費						
市債			3,000			
その他						
一般財源						
R2予算額			3,000			
R元 当初予算額						
R元 現計予算額						
増減額	3,000					
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)	/		過疎対策事業債 3,000千円			
従事職員数【人工】						
人件費 (人工×8,000千円)						
総事業費：人件費含む (千円)						
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (10) 在宅医療体制構築及び在宅医療推進に係る負担金	
単位当たりコスト (円)						

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生ごみ処理機等購入助成事業				
所管課		環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	環境衛生事業について、循環型社会の構築として、一般家庭の生ごみの減量・資源化の促進として「生ごみ処理機」・「コンポスト」の普及を促進していく。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	7	環境衛生費
事業	1	本庁環境衛生費					
根拠条例等	宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 5-2-1 ごみの適正処理の推進						
R2年度事業の概要	家庭用生ごみ処理機 103千円 〔内訳〕 コンポスト 3件 9千円 EMボカシ 2件 4千円 生ごみ処理機 3件 90千円				財源の内訳 (単位：千円)		
	<p>環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。</p> <p>成果として、生ごみの減量化及び資源化が図れる。平成19年度から平成30年度までに207件が設置されている。</p> <p>平成19年度・・・25件 平成20年度・・・40件 平成21年度・・・35件 平成22年度・・・16件 平成23年度・・・14件 平成24年度・・・18件 平成25年度・・・15件 平成26年度・・・13件 平成27年度・・・13件 平成28年度・・・10件 平成29年度・・・3件 平成30年度・・・5件</p>				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国 費		
					県 費		
					市 債		
					その他		
					一般財源	103	
					R2予算額	103	
				R元 当初予算額	86		
				R元 現計予算額	86		
				増減額	17		
事業のコスト		平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		72	86				
従事職員数【人工】		0.20	0.20				
人件費 (人工×8,000千円)		1,600	1,600				
総事業費：人件費含む (千円)		1,672	1,686				
活動指標名		助成件数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		5	単位	件	備考		
単位当たりコスト (円)		334,400	7	単位		件	
					<予算案重点事業> 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 2. 生活環境の整備・充実 (1) 循環型環境社会の推進		

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集団資源回収助成事業					
所管課		環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、資源の再利用を促進するため、集団資源回収助成制度を実施する。				区分 No.	区分名		
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	7	環境衛生費	
事業	1	本庁環境衛生費						
根拠条例等	宇陀市集団資源回収助成金交付要綱							
総合計画	基本計画 5-2-1 ごみの適正処理の推進							
R2年度事業の概要	宇陀市内の登録団体は50団体あり、集団資源回収の報告を受け、1kg当たり3円の助成金を交付している。令和2年度は、回収量520,000kgを見込んでいる。				財源の内訳 (単位：千円)			
	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。 成果 平成22年度 664,385kg 助成金・・・1,993,155円 平成23年度 611,560kg 助成金・・・1,834,680円 平成24年度 583,090kg 助成金・・・1,749,270円 平成25年度 583,045kg 助成金・・・1,749,135円 平成26年度 574,320kg 助成金・・・1,722,960円 平成27年度 574,350kg 助成金・・・1,723,050円 平成28年度 543,180kg 助成金・・・1,629,540円 平成29年度 533,610kg 助成金・・・1,600,830円 平成30年度 509,675kg 助成金・・・1,529,025円				分担金			
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源					1,560			
R2予算額					1,560			
R元 当初予算額					1,680			
R元 現計予算額					1,680			
増減額	▲ 120							
事業のコスト			平成30年度(実績)	令和元年度(見込)				
決算額又は決算見込額 (千円)			1,529	1,680				
従事職員数【人工】			0.20	0.20				
人件費 (人工×8,000千円)			1,600	1,600				
総事業費：人件費含む (千円)			3,129	3,280				
活動指標名			回収量					
活動指標の算式			—					
活動指標の実績(見込)			509,675	単位	kg	550,000	単位	kg
単位当たりコスト (円)			6		6			
備考			<予算案重点事業> 【重点事業】 5.自然豊かなまち 2.生活環境の整備・充実 (1)循環型環境社会の推進					

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境美化活動事業				
所管課		環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	ごみゼロに向け、市民により周辺道路等の美化清掃活動の支援を行い清掃ボランティア団体の育成や地域住民の清掃活動を支援し、環境に配慮したまちづくりを行う。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
事業	1	清掃総務費					
根拠条例等	宇陀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
総合計画	基本計画 5-1-1 自然環境の保全・活用						
R2年度事業の概要	前年度に引き続き各自治会等の参加のもと、地域住民の清掃活動を支援していく。 毎年、6月を強調月間とし、各地域で清掃活動に取り組んでいる。				財源の内訳 (単位：千円)		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	市民自らが河川や森林などの自然環境を守る意識の高揚を図ると共に不法投棄の防止に努め、自然環境保全に関するマナーや意識の向上を目標とする。 成果 平成21年度より毎年環境美化月間(6月)に併せて、市内統一美化活動としてごみゼロ事業を行っている。活動を通じて環境美化や環境問題に対する意識の高揚を図る。事業の実施に伴い、市民の自主的発案で地域協議会等による美化活動も行われている。 令和元年度では参加団体195・参加人数9,088人・ごみ収集量は可燃及び不燃性ごみ量4,050kgであった。				分担金		
	使用料						
	国費						
	県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	870					
	R2予算額	870					
R元 当初予算額	934						
R元 現計予算額	934						
増減額	▲ 64						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)	718	934					
従事職員数【人工】	0.40	0.40					
人件費 (人工×8,000千円)	3,200	3,200					
総事業費：人件費含む (千円)	3,918	4,134					
活動指標名	参加人数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績(見込)	9,720	単位	人	9,088	単位	人	
単位当たりコスト (円)	403		455		備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 1. 豊かな自然環境の保全・活用 (4) 環境美化活動事業	

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	合併処理浄化槽整備事業				
所管課	環境対策課		(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適な生活環境と水質保全のため、合併処理浄化槽設置事業を推進する。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	3	合併処理浄化槽整備事業費
事業	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費					
根拠条例等	宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 5-2-2 生活衛生環境の向上						
R2年度事業の概要	下水道処理区域の見直し等により、合併処理浄化槽整備区域が拡大し整備を進めている。 5人槽・・・5基 332,000円×5基= 1,660,000円 7人槽・・・15基 414,000円×15基= 6,210,000円 10人槽・・・1基 548,000円×1基= 548,000円 7人槽・・・1基(市単) 414,000円×1基= 414,000円 小附一区地区追加 7人槽・2基 414,000円×2基+586,000円×2基=2,000,000円				財源の内訳 (単位：千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	生活水準の向上と自然環境の保全を目的として、平成27年度からの5ヵ年計画により整備率を43%を目標とする。 平成30年度の設置数は20基で、整備率は38%になる。 又、令和2年度の設置数については、5人槽が5基、7人槽が18基、10人槽が1基合計24基を予定する。 平成30年度実績 5人槽・・・7基 補助金額・・・2,324千円 7人槽・・・12基 補助金額・・・4,968千円 10人槽・・・1基 補助金額・・・548千円				分担金	
使用料							
国費		3,081					
県費		3,081					
市債							
その他							
一般財源		4,670					
R2予算額		10,832					
R元 当初予算額	12,622						
R元 現計予算額	12,622						
増減額	▲ 1,790						
事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額 (千円)	7,840	12,622	循環型社会形成推進交付金 3,081千円				
従事職員数【人工】	0.60	0.60	合併処理浄化槽設置事業費 補助金 3,081千円				
人件費 (人工×8,000千円)	4,800	4,800					
総事業費：人件費含む (千円)	12,640	17,422					
活動指標名	設置基数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績(見込)	20	単位	基	22	単位	基	
単位当たりコスト (円)	632,000		791,909				
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 2. 生活環境の整備・充実 (2) 合併処理浄化槽の整備推進						